沖　大幹

水への配慮が企業のCSRの必須項目に

水・地球環境問題特別研究会　RC-70

1. 代表幹事

沖　大幹（東京大学 生産技術研究所 人間･社会系部門 教授）

幹事

伊坪徳宏（東京都市大学 環境情報学部 准教授）

沖　一雄（東京大学 生産技術研究所 人間･社会系部門 准教授）

芳村　圭（東京大学 大気海洋研究所 気候システム研究系 准教授）

連絡先

黒澤綾子（沖 研究室）

Tel　：03-5452-6382

Fax　：03-5452-6883

e-mail：hnak@rainbow.iis.u-tokyo.ac.jp

2. 主旨

世界の水問題は、地球温暖化に伴う気候変動の悪影響が懸念される健康、食料、エネルギー、生態系を横断し、鍵となる影響分野として国際政治の主要課題となっている。さらに、温暖化の進行を緩和するため、二酸化炭素など温室効果ガスの排出削減が進む中、炭素の次は水に関する国際的な使用規制の枠組みができあがるのではないか、という懸念が強くなっており、水の使用に対して国際的な価格付けをすべきであるという意見すら提案されている。 このため、ヨーロッパを中心として商品製造や企業活動に伴う水使用やその他の活動に伴う水環境への影響のライフサイクルアセスメントによる総合的な評価指標であるウォーターフットプリント（WFP）推計の需要が高まり、推計手法のISO化が現在進行中である。気候変動に関する政府間パネル（IPCC）ならびにWFPのISO標準化委員会に関する最新の情報、最新の研究成果を踏まえつつ、こうした水に関する国際動向が日本の産業界に及ぼす影響、逆に日本としてこれらに対し提案･アピールしていくべき内容、先んじて研究開発を進めるべき方向について認識を深める。

3. その他

期　　間：平成25年4月～平成26年3月

参　加　費：賛助員の場合（賛助会費１口10万円）：参加費15万円

　　非賛助員の場合　　：参加費25万円

定　　員：最小3社、最大20社

運 営 方 法：年4回程度、1回2時間程度の定例研究会を開催